

受験番号				

次の文章は、「持続可能なファッション」について述べられた文章である。文章をよく読んで、問いに答えなさい。

以上のように、エシカルファッションは、冒頭でふれたような道徳家が身に着ける禁欲的なファッションを指し示しているのではなく、倫理的に正しい生産工程や労働環境や取引によって成り立つファッションであり、さらに環境への配慮も行き届いたファッションのことを指しているということが理解できる。つまりファッションという言葉が本来もっている、移り変わりの激しい一時的な流行や、軽薄さなどといった概念とは、相反するものと言ってよいかもしれない。

これは、ファッションというよりは社会運動であり、世界規模における啓蒙運動であると言ってよいだろう。移り変わるのではなく、永続性、持続可能性をファッションに求めるものなのである。グローバル社会に対する、一種の警鐘であり、平たく均一化されてしまった世界の服飾文化に、今一度、地域固有の豊かで多様な染織の彩りを復活させようとするものでもある。

そのような意味において、エシカルファッションショーのなかで明確に示しているわけではないが、今日、世界的に広まっているファストファッションに対するアンチテーゼ(a)であるのはまちがいない。生物多様性や文化の多様性が、求められ始めている現代において、エシカルファッションがどれだけ、世界に浸透していくかは興味深く、またそのような今日であるからこそ、エシカルファッションの果たす役割は大きいと思われる。

歴史を振り返れば、常に贅沢と二人三脚であったファッションは、「倫理」や「道徳」とは相いれないものであり続けてきた。たとえばパンクファッションのように、「倫理」に反するがゆえに格好良いと見なされる現象も歴史のなかには多くあったことを考えると、エシカルファッションの登場は、これまでのファッションの概念を覆すかのような出来事のようにも思われる。21世紀がこれまで人間が経験したことのないような局面に突入していることを、エシカルファッションは、ファッションという人間の素朴な欲望の側面から、照射しているように思われてならない。華やかにおしゃれをしたいという人間の欲求と、エシカルな考え方が両立していくのか。エシカルファッションは発展していくのか、それとも、一握りの人びとの間の流行に終わるのか。いわゆる「ファッション（流行）」であるのならば、いずれ消えていくのが宿命かもしれない。しかし、現状において、「倫理は<sup>レスニック・セ・シック</sup>おしゃれ」は少しずつ浸透し始め、徐々に新しい展開も見せ始めている。

たとえば、エシカルという言葉を使っているものではないが、2011年には、アメリカのアパレル企業を中心に「サステイナブル・アパレル連合」（本部サンフランシスコ）が結成された。日系企業では、東レ、帝人フロンティア、アシックスの3社が加盟している。本連合では、「ヒグ・インデックス」という指標を設けて、生産から廃棄に至る経済活動が、環境と社会に与える負荷を測定する基準を作った。将来的に、これがひとつの世界基準になっていく可能性が示唆されている。

そして、2014年5月、日本も別の形で一步前進を始めた。「日本エシカル推進協議会」（代表・山本良一東京大学名誉教授）が設立されたのである。今後、とくに東京オリンピックに向けて、日本国内のエシカル消

受験番号				

費を推進していこうというものであり、期待は大きい。本協議会においては、ワーキング・グループが作られており、そのなかに、エシカルファッションのグループも作られている。このような動きが大きく推進されていくなかで、エシカルファッションが抱えていたいくつかの課題も解決され、知名度もあがり、あらたな展開も見えてくるのかもしれない。

エシカルファッションの考え方がファッションビジネスの世界に確実に根をおろし、大きな幹と枝葉を育てていけるとしたら、私たちの生活を彩るファッションの世界は、未来に向かって大きく花開いていくように思えてならない。そして、それは、ファッションの長い歴史のなかでも、ひとつの大きな転換点になっていくのかもしれないと思うのである。

出典：内村理奈 著 『ファッションビジネスの文化論』北樹出版 pp.209-211, 2016

- 問1. ここで述べられている「エシカルファッション」の意味を250字以内で具体的に説明しなさい。
- 問2. ここで述べられている「エシカルファッション」が、下線部(a)「ファストファッションに対してのアンチテーゼ」である理由を200字以内で具体的に説明しなさい。
- 問3. 「エシカルファッション」が定着することで、今後の我々の消費生活がどのように変わっていくかについて、自身の考えを400字以内で述べなさい。